

中学校一年生の漢字プリント十五

名前

【光村図書 国語1】大人になれなかった弟たちに・・・一〇プリント十六に続く

くわしゅう

(1) 空襲 警報が鳴り響く

(14) 米と 交換 する

ばくだん

(2) 爆弾 を積んだ車両

となりむら

(15) 隣村 まで行く

ほる

(3) 穴を 掘る

かわく

(16) 洗濯物が 乾く

うすい

(4) 味が 薄い

えんりよ

(17) 遠慮 をする

かん

(5) ミルクの 缶

はんげき

(18) 敵の 反撃 にあう

おかし

(6) 大好きな お菓子

すぎ

(19) 杉 の板を 削る

ぬすみ

(7) 盗み 飲む

かん

(20) 小さな 棺 に遺体を入れる

いなか

(8) 田舎 に 疎開 する

おそう

(21) 日本列島を寒波が 襲う

よんさい

(9) 四歳 の誕生日

ひく

(22) ピアノを 弾く

しんせき

(10) 遠い 親戚

はっくつ

(23) 土器を 発掘 する

けいりゅう

(11) きれいな 溪流

はくじょう

(24) 薄情 な人間

もも

(12) 桃 の花が咲く

とうなん

(25) 盗難 事件が起こる

おおい

(13) 頭の上に 覆い かぶさる

おせいぼ

(26) 御歳暮 を贈る

【光村図書 国語1】大人になれなかった弟たちに・・・続きく十六

とうげんきょう

(1) 桃源郷 のような景色

(14) 話が

弾む

現実では実現できない完璧な理想郷。

ふくめん

(2) 覆面 パトカー

(15) 水で

薄める

かえる

(3) 空気を 換える

たま

(16) 弾 が尽きる

きんりん

(4) 近隣 の住人

ねほりはほり

(5) 根掘り葉掘り

徹底的に。細かい点までしつこく。

ひまをぬすむ

(6) 暇を盗む

忙しい最中のわずかな時間を利用すること。

さいげつひとをまたず

(7) 歲月人を待たず

時間は人の都合とは関係なしに刻々と過ぎていくもの。

かんでんち

(8) 乾電池 を入れる

みをけずる

(9) 身を削る

自らの身を削るほどの努力、または苦勞をすること。

じゅくりよだんこう

(10) 熟慮断行

十分に検討した上で、思い切って実行すること。

むみかんそう

(11) 無味乾燥

内容に少しもおもしろみやあじわいが無いこと。

うつつ

(12) 的を 撃つ

(13) ファイルを 削除 する

さくじょ

中学校一年生の漢字プリント十七

名前

【光村図書 国語1】星の花が降るころに一〜プリント十八に続く

(1) ボタンを「押す」

おす

(14) 「貧血」を起こす

ひんけつ

(2) 「俺様」な態度

おれさま

(15) 来るのが「遅い」

おそい

(3) 「塾」に通う

じゅく

(16) 「魂」が抜ける

たましい

(4) サッカー部の「先輩」

せんぱい

(17) 「探り」を入れる

さぐり

(5) 「廊下」を歩く

ろうか

(18) 罪を「憎む」

にくむ

(6) 窓からの「眺め」

ながめ

(19) 「日陰」で休む

ひかげ

(7) 新しいことに「挑戦」する

ちようせん

(20) 顔を「拭く」

ふく

(8) 「香水」を付ける

こうすい

(21) 金木犀は「常緑樹」

じようりよくじゆ

(9) 友達を「誘う」

さそう

(22) 「涙」がにじむ

なみだ

(10) 顔を「背ける」

そむける

(23) 木を「刈り込む」

かりこむ

(11) 外が「騒々しい」

そうぞうしい

(24) ここにいれば「大丈夫」

だいじようぶ

(12) 「唇」がふるえる

くちびる

(25) 「掃除」をする

そうじ

(13) 窓に「駆け寄る」

かけよる

(26) 「厄介」な出来事

やっかい

【光村図書 国語1】星の花が降るころに 続き〜二十六

(1) 帽子ぼうしを被る

(14) 優しい言葉に感涙かんるいする

(2) 荷物を抱えるかかえる

(15) ズボンの丈たけ

(3) 口元を押さえるおさえる

(16) 余勢を駆るよせいをかる
何かを成し遂げた勢いのまま、次の行動に移ること。
おそかれはやかれ

(4) 眺望ちょうぼうの良い部屋

(17) 遅かれ早かれ
遅い早い之差はあってもいつかは、という意味。
いっすんのむしにもごぶのたましい

(5) 出口まで誘導ゆうどうする

(18) 一寸の虫にも五分の魂
小さく弱い者でも意地や感情があら、侮ってはならない。

(6) 友達と大騒ぎおおさわぎする

(19) 今年の抱負ほうふ

(7) 唇くちびるをかむ
怒りやくやしさをこらえる。

(20) すずめの涙なみだ
ごくわずかなものたどえ。

(8) 最先端技術を駆使くしする

(21) 希望を抱くいだく

(9) 学校に遅刻ちこくする

(22) ほこりを掃くはく

(10) 精魂せいこん込めて作る

(23) 時間を遅らすおくらす

(11) 小説の中の愛憎劇あいぞうげき

(24) 赤ちゃんを抱くだく

(12) 彼は陰気臭いいんきくさい

(25) 憎しみにくしみが消える

天気や霏雨、性格などが暗く晴れ晴れとしない様子。

(13) 手拭いてぬぐいで手をふく

(26) 日が陰るかげる

(1) 心地 [] 良い風

ねこ

(2) 猫 [] に小判

価値がわからない人に貴重なものを与えても無駄。

そくする

(3) 実情に [] 即する

ぴったり適合すること。

たがい

(4) 互い [] 違いに並べる

二つのものが一つおきに置かれること。交互。

ふきゅう

(5) スマホが [] 普及 [] する

えんかつ

(6) 活動が [] 円滑 [] にすすむ

しめりけ

(7) 湿り気 [] のある重い雪

せんさい

(8) 繊細 [] な描写

ことばづかい

(9) 言葉遣い [] に注意する

つぐ

(10) 家業を [] 継ぐ

ふそくふり

(11) 不即不離 []

つきも離れもしない関係を保つこと。

ごかく

(12) 互角 [] の勝負

およぶ

(13) 害が [] 及ぶ []

くちがすべる

(14) 口が滑る []

言っではならないことをうっかり言ってしまう。

あしもとももおよばない

(15) 足下にも及ばない []

相手がすぐれていて、比べものにならない。

しつど

(16) 湿度 [] が高い

はけん

(17) ほかの会社に [] 派遣 [] する

ちゅうけい

(18) テレビ [] 中継 []

そくざ

(19) 即座 [] に判断する

なめらか

(20) 滑らか [] な動き

にのくがつげない

(21) 一二の句が継げない []

あきれたり驚いたりして、次に言うべき言葉を失う。

ねこじた

(22) 私は [] 猫舌 [] だ

熱いものを飲食できないこと。

中学校一年生の漢字プリント二十

名前

【光村図書 国語1】漢字2 漢字の音訓 一〜十九 / 「言葉」をもつ鳥、シジユウカラ二十〜プリント二十一に続く

いくつか

(1) 幾つか

(14) 日本の首相

ぎこう

(2) 技巧を凝らす

ちぎ

(15) 知己を得る

しゃだん

(3) 外気を遮断

かいどう

(16) 街道沿いの店

きかく

(4) イベントを企画する

こうきゅう

(17) 突然の事に号泣する

きかがく

(5) 幾何学模様

しんせい

(18) 就労ビザを申請する

こうげんれいしよく

(6) 巧言令色

ごしよもう

(19) 何をこそ望みますか？

さえぎる

(7) 話を遮る

ころ

(20) 桜が咲く頃

くわだてる

(8) 事を企てる

ほお

(21) 頬を赤く染める

たくみな

(9) 巧みな演奏

はんしよくき

(22) 春は動物たちの繁殖期

うむ

(10) 有無を言わさぬ態度

えさ

(23) 餌を食べる

どしゃぶり

(11) 土砂降りの雨

いかく

(24) 翼を広げて威嚇する

せいか

(12) 盛夏に旬を迎えるメロン

ぶんせき

(25) データを分析する

げし

(13) 夏至は昼が最も長い日

けいかい

(26) 警戒すべき対象

中学校一年生の漢字プリント二十一 名前

【光村図書 国語1】 「言葉」をもつ鳥、シジユウカラ 続き〜二十一

(1) 今の**状況**を報告する

じょうぎょう

(14) **威風堂々**

いふうどうどう

態度や雰囲気^{ぶたい}に威厳が満ちあふれて立派な様子。

(2) 礼儀正しい**振る舞い**

ふるまい

(15) **舞台**の上に立つ

ぶたい

くわしく

(3) **詳しく**調べる

しょうさい

(16) 事の**詳細**を説明する

おいはらう

(4) 虫を**追い払う**

しはらい

(17) 光熱費の**支払い**

だれ

(5) **誰**だか分からない

おどし

(18) **脅し**に屈しない

かいしゃく

(6) 話を自分なりに**解釈**する

えもの

(19) **獲物**を狙う

きょうい

(7) 人類にとっての**脅威**

にのまい

(20) **二の舞**

他人の失敗と同じような失敗を犯すこと。

かくとく

(8) 賞金を**獲得**する

りょうしょう

(21) 親の**了承**を得る

みりょう

(9) 人々を**魅了**する美しさ

さかん

(10) スポーツが**盛ん**な街

ふやす

(11) 財産を**殖やす**

えづけ

(12) ハトに**餌付け**する

いましめ

(13) **戒め**を守る

中学校一年生の漢字プリント二十二 名前

【光村図書 国語1】思考のレッスン2 原因と結果 一〜二十一 / 漢字に親しもう3 二十二〜プリント二十三に続く

(1) 影を「踏む」

ふむ

(14) 不運が「

たびかさなる

度重なる」

(2) 「隔離」

かくり

「された部屋

(15) 神社の「

けいだい

境内」

(3) 「環境」

かんきょう

「問題に取り組む

(16) 「樹齢」

じゅれい

「千年の杉

(4) 「偶然」

ぐうぜん

「の出来事

(17) ボートで「

いりえ

入り江」

(5) 宝物を「隠す」

かくす

」

(18) 新鮮な「

うみのさち

海の幸」

(6) 「衆人環視」

しゅうじんかんし

多くの人が周りを取り囲んで見ていること。
のうあるたかはつめをかくす

(19) 「細菌」

さいきん

「について研究する

(7) 「能ある鷹は爪を隠す」

実力のある者ほど、それを表面に現さない。

(20) 雨あがりの「虹」

にじ

」

(8) 駅前の「雑踏」

ざつどう

「にまぎれる

(21) 「発酵」

はっこう

「食品を食べる

(9) 時を「隔てる」

へだてる

」

(22) 相手を「納得」

なっとく

「させる

(10) 定年を迎え「隠居」

いんきょ

「する

(23) 特技を「披露」

ひろう

「する

(11) 内容を「踏まえる」

ふまえる

判断のよりどころにする。根拠とする。

(24) 「貿易摩擦」

ぼうえきまそつ

「が生じる

(12) 野菜の「苗」

なえ

」

(25) 利益を「還元」

かんげん

「する

(13) 商品を「出荷」

しゅつか

「する

(26) 自分を「肯定」

こうてい

「する

中学校一年生の漢字プリント二十三 名前

【光村図書 国語1】漢字に親しもう3 続き／十／大阿蘇十一／十七

(1) 「**黄砂**」が飛んでくる

おか

(14) 「**丘**」の上の小さな家

(2) 資料に表を「**挿入**」する

ひのないところにけむりはたたぬ

(15) 「**火のない所に煙は立たぬ**」
うわさが立つからには、なんらかの根拠がある。

(3) 裁判の「**陪審員**」

(16) 山が火を「**噴く**」

(4) 広告の「**媒体**」を決める

(17) 鳥取「**砂丘**」

(5) 車を「**駐車**」する

(6) 契約を「**仲介**」する

間に入って両方ともうまく取り持つこと。

(7) 長い川の事を「**長江**」という

(8) 「**挿し木**」をする

(9) 「**納豆**」を食べる

(10) 領土を「**奪還**」する

(11) 焚き火の「**煙**」

(12) 馬の「**尻尾**」

(13) 火山から「**噴煙**」があがる

中学校一年生の漢字プリント二十四 名前

【光村図書 国語1】蓬萊の玉の枝「竹取物語」から一くプリント二十五に続く

(1) 竹の「筒」

(14) 心を「奪う」

(2) 物語の「冒頭」部分

(15) 宮中に「迎え入れる」

(3) 子供を「授かる」

(16) 皇帝が「お召し」になる

(4) 「籠」に入れる

(17) 手紙を「添える」

(5) 美しい「娘」

(18) プレゼントを「贈る」

(6) かぐや「姫」

(19) 手紙のことを「文」という

(7) 「結婚」する

(20) その旨を「承る」

(8) 「諦める」

(21) 手紙を「封筒」に入れる

(9) 春が「訪れる」

(22) 危険を「冒す」

(10) 「恐ろしい」顔を
する

(23) 部屋に「籠る」

(11) 道を「尋ねる」

(24) 時代を「諦観」する

(12) 山の「斜面」

(25) 「恐怖」を覚える

(13) 山の「裾野」

(26) 「尋常」じゃない汗の量

山のふもとが、ゆるやかに広がった野原。

中学校一年生の漢字プリント二十五 名前

【光村図書 国語1】蓬萊の玉の枝「竹取物語」から続き〜十二／今に生きる言葉 十三〜二十四

ななめ

(1) 斜め 前の席

むじゅん

(14) 話が 矛盾 している

そうだつ

(2) 権力の 争奪 戦がおこる

だそく

(15) この話は 蛇足 だ

かんげいかい

(3) 新入社員の 歓迎会

かたい

(16) 彼は口が 堅い

しょうしゅう

(4) 役員を 召集 する

しょうしんしょうめい

(17) 真正銘

てんさく

(5) 論文を 添削 する

偽りのない本物であること。

(18) 矢も盾もたまらず

せんせんきょうきょう

(6) お歳暮などの 贈答品

けんじつ

(19) 彼は 堅実 人間だ

せんせんきょうきょう

(7) 戦々恐々 物事を恐れてびくびくしているさま。

へび

(20) やぶをつついて 蛇 を出す

こころをうばわれる

(8) 心を奪われる

かんめい

(21) 深い 感銘 を受ける

すいとう

(9) 水筒 に水を入れる

ほこさき

(22) 矛先 を向ける

だいぼうけん

(10) 大冒険 をする

うしろだて

(23) 後ろ盾 をもつ

すえおそろしい

(11) 末恐ろしい

じゃぐち

(24) 蛇口 をひねる

将来どうなることかと思いやられて、恐ろしい。
よりそう

(12) 親友の心に 寄り添う

めい

(13) 座右の 銘

いつも身边に置いて戒めや励ましとする言葉。

中学校一年生の漢字プリント二十六 名前

【光村図書 国語1】「不便」の価値を見つけ直す一〜十九 / 漢字に親しもう4 二十〜プリント二十七に続く

てまいらず

(1) 手間要らず

(14) 血行を促進する働き

いっぱんてき

(2) 一般的 な話

こりつむえん

(15) 孤立無援

頼るものがなく、ひとりぼっちで助けのないさま。

とちゅう

(3) 話し合いの途中

たおす

(16) 木を倒す

しせつ

(4) 商業 施設

じっし

(17) キャンペーン 実施 中

くりかえす

(5) 作業を繰り返す

すいこう

(18) 業務を遂行する

うながす

(6) 肌の新陳代謝を促す

ほんまつてんとう

(19) 本末転倒

なしとげる

(7) 事を成し遂げる

げんえき

(20) 現役 の世代

もと

(8) 正しい考えの下 行動する

いそがしい

(21) とても 忙しい

しえん

(9) 支援 する

ざんしん

(22) とても 斬新 な発想

めんどう

(10) 面倒 くないと思う

つく

(23) 希望の職に就く

とほうにくれる

(11) 途方に暮れる

ごうかくきがん

(24) 合格祈願 のお守り

方法や手段が尽きて、どうしてよいかわからなくなる。

ほどこす

(12) 撥水加工を施す

しよくよくおうせい

(25) 食欲旺盛 な子供たち

くる

(13) ページを繰る

すなお

(26) 素直 な性格

(1) 何事もはじめが**肝要**だ

かんよう

いのる

(2) **完璧**な対応

かんぺき

(15) うなぎの**肝**

きも

(3) お金を**稼ぐ**

かせぐ

(16) ホテルに**滞在**する

たいざい

(4) のどが**渴く**

かわく

(17) **忙中**閑あり

ぼうちゆう

かん

忙しい中にも、わずかなひまはあるものである。

(5) 仕事が**滞る**

とどこおる

(18) 水の**沸点**は百度

ふってん

(6) お湯が**沸く**

わく

(19) 病気で**衰弱**する

すいじやく

(7) 体力が**衰える**

おとろえる

(20) **栄枯盛衰**

えいこせいすい

世の中すべての事には繁栄と衰退があるということ。

(8) 原宿の明治**神宮**

じんぐう

(21) **肝に銘じる**

きもにめいじる

しっかりと心に刻み付けて忘れないようにしておく。

(9) 氏神様に**詣でる**

もうでる

(22) **刺激**が強い

しげき

(10) レモンを**搾る**

しぼる

(23) **初詣**に行く

はつもうで

(11) くぎを**刺す**

さす

約束違反や言い逃れができないように念を押す。

(12) 彼は**多忙**

たぼう

(13) 刀で**斬る**

きる

中学校一年生の漢字プリント二十八 名前

【光村図書 国語1】考える人になるうーく十二／少年の日の思い出十三〜プリント二十九に続く

- (1) 筆者の考えに「**触れる**」
ふれる
- (2) 「**真剣**」に考える
しんけん
- (3) 「**自慢**」する
じまん
- (4) 「**特殊**」な部品
とくしゆ
- (5) 「**翼**」を羽ばたかせる
つば
- (6) 自転車と「**接触**」する
せつしよく
- (7) 古い「**剣**」
つるぎ
- (8) 「**殊の外**」よい記録が出た
ことのほか
予想とかなり違っているさまのこと。
しょうしんよくよく
- (9) 「**小心翼翼**」な子供たち
気が小さくて臆病なこと。
てざわり
- (10) 「**手触り**」のよい布
てざわり
- (11) 飛行機の「**両翼**」
りやうよく
- (12) 「**触手を伸ばす**」
しよくしゆをのばす
野心をもって対象物に徐々に働きかける。
- (13) 父の「**書斎**」
しよさい
- (14) 椅子に「**腰掛ける**」
こしかける
- (15) レースで「**縁取る**」
ふちどる
- (16) 「**闇**」に包まれる
やみ
- (17) 心を「**閉ざす**」
とざす
- (18) 「**絶妙**」なバランス
ぜつみょう
- (19) 「**不愉快**」な思いをする
ふゆかい
- (20) 「**微笑**」を浮かべる
びしょう
- (21) 「**恥ずかしい**」
はずかしい
- (22) 「**甲高い**」声
かんだかい
- (23) 幼稚園の「**お遊戯会**」
おゆうぎかい
- (24) 「**塔**」の時計
とう
- (25) 虫取り「**網**」
あみ
- (26) 「**待ち伏せ**」する
まちぶせ

(1) 斑点の模様

(14) 世間体を繕う

(2) ビール瓶の栓

(15) 一切合切

何もかも全て、全部。

(3) 模範的な生徒

(16) 罰を受ける

(4) 他人を妬む

(17) 丹念に調査する

(5) 機械の欠陥を見つける

(18) 依然厳し状況だ

ある状態が変化せず、元のまま続くさま。

(6) 自分の息子

(19) 軽蔑した態度をとる

ばかにすること。かるんじさげすむこと。

(7) 敵の攻撃

(20) 喉笛にかみつく

のどの気管が通る部分。また、のどぼとけのあたり。

(8) 苦言を呈する

(21) 相手を罵る

ひどい言葉で悪口を言う。声高に非難する。

(9) 羨ましい

(22) 罪を償う

(10) 優雅な立ち振る舞い

(23) 本腰を入れる

物事に真剣に取り組むこと。

(11) 罪を犯す

(24) 縁起をかつぐ

些細なことを、よ
い前兆であるか悪
い前兆であるかと
気にする。

(12) 人生を悟る

(25) 当意即妙

その場にうまく適応した即座の機転をきかすさま。

(13) 身体が震える

(26) 彼の情報網を利用する

(1) 物語の「伏線」を回収する

(14) 「罰」が当たる

びにいりさいをうがつ

いらい

(2) 「微に入り細をうがつ」

きわめて細かな点にまで気を配る。

(15) 仕事を「依頼」する

こうがんむち

さげすむ

(3) 「厚顔無恥」

ずうずうしくて恥知らずなこと。

(16) 相手を「蔑む」

あなどり軽んずる。見さげる。見くだす。

かめのこうよりとしのこう

いんとうつう

(4) 「亀の甲より年の功」

年長者の意見は経験から来るものなので大事に聞いて従うべき。

(17) 「咽頭痛」に悩まされる

はんい

ばせい

(5) テストの「範囲」

(18) 「罵声」を浴びる

しつと

べんしょう

(6) 「嫉妬」する

(19) 壊したものを「弁償」する

おちいる

しんしょうひつぱつ

(7) 罫に「陥る」

(20) 「信賞必罰」

賞罰のけじめを厳正にし、確実にを行うこと。

いちもうだじん

きゅうたいいぜん

(8) 「一網打尽」

一度に関係者をごとごとく捕らえ、罪に陥れること。

(21) 「旧態依然」

昔のままで少しも進歩や発展がないさま。

なんこうふらく

のどもとすぎればあつさをわすれる

(9) 「難攻不落」

攻撃がむずかしく、なかなか陥落しないこと。

(22) 「喉元過ぎれば熱さを忘れる」

苦しいことや辛いことも、過ぎてしまえば忘れること。

はじをしる

みぶるい

(10) 「恥を知る」

恥であることを自覚する。

(23) 感動のあまり「身震い」する

かくご

ふす

(11) 「覚悟」を決める

(24) 病に「伏す」

しんさい

を経験を

(12) 「震災」を経験する

しんさい

を経験を

(13) 屋根を「修繕」する

しゅうぜん

を経験を

中学校一年生の漢字プリント三十一 名前

【光村図書 国語1】漢字に親しもう5 1〜プリント三十二に続く

(1) 料理で**箸**を使う

(14) **全身全霊**

(2) 料理を**器**に盛り付ける

(15) **変幻自在**

(3) **喫茶店**で待ち合わせする

(16) **首尾一貫**

(4) **抹茶**味のアイス

(17) 旅行を**満喫**する

(5) ピザ**窯**でピザを焼く

(18) **箸**にも**棒**にもかからない

(6) **熟れた**トマト

(19) 緊張して**脂汗**を流す

(7) **絹ごし**豆腐

(20) **靈感**が強い

(8) **体脂肪**が増える

(21) **幻**を見る

(9) **燃焼**しやすい身体

(22) **尾**を引く

(10) **試行錯誤**

(23) 彼は**好奇心**旺盛だ

(11) **奇想天外**

(24) 好かれていると**錯覚**する

(12) **大胆不敵**

(25) 審査に通らず**落胆**する

(13) 野菜が**腐る**

(26) 主張を**貫く**

中学校一年生の漢字プリント三十二 名前

【光村図書 国語1】漢字に親しもう5 続きく四 / ずい筆二編五く二十一

あぶらがのる

(1) 脂が乗る

仕事などの調子が出て、意欲的に取り組んでいる。

たいはいをきつする

(2) 大敗を喫する

ひどく負けること。スポーツなどで大差で敗れること。

くされえん

(3) 腐れ縁

縁を切ろうとしても断ち切れない、好ましくない関係。

しゅうしいつかん

(4) 終始一貫

始めから終わりまで一筋に、態度・行動を変えないこと。

ずいひつ

(5) 随筆を書く

筆者が見聞き体験をしたこと感じたことを記した文章。

あこがれ

(6) 憧れの職業

さんけん

(7) 三軒先の家

さんけん

(8) 土に埋める

うめる

(9) 色が濃い

こい

(10) 記憶に残る

きおく

(11) 電車のつり革

かわ

(12) 犯人を見逃す

みのがす

(13) 薄い膜

まく

(14) 美味しそう

におい

てんじょう

(15) 天井が高い

しょうけい

(16) 彼に憧憬の念を抱く

あこがれること

(17) 給料は軒並み上がった

どれも同じように、どれもこれも

のきなみ

(18) 一目散に逃げる

にげる

(19) 徳川の埋蔵金

まいぞうきん

(20) 濃縮した味

のうしゆく

(21) 逃亡する

とうぼう

中学校一年生の漢字プリント三十三 名前

【光村図書 国語1】言葉3さまざまな表現方法 1〜10 / 漢字3 漢字の成り立ち 11〜19 プリント三十四に続く

(1) 余韻よいんを残す

(14) 鳥を狩かるる

(2) 順番をいれかえる入れ替える

(15) 野菜をはんばい販売する

(3) 蜂はちに刺される

(16) 幼稚園のきょううゆ教諭になる

(4) 擬人法ぎじんぼうを使う

(17) 苛酷かこくな扱いをされる
無慈悲であるさま。

(5) 亀かめのように顔を出す

(18) 画伯がはくの絵は素晴らしい

(6) 対句法ついくぼうを使う

(19) 正常なみやくはく脈拍

(7) 交替こうたいで運転する
かわりばんこ。ローテーション。

(20) 船が港にていはく停泊する

(8) 養蜂場ようほうじょうのハチミツ

(21) 付け焼き刃つけやきば

(9) 地面にきれつ亀裂が走る

(22) 山でしゅりょう狩猟をする
鉄砲・網などを使って、鳥獣を捕らえること。狩り。

(10) 衣替えころもがえの季節

(23) 親が子をさどす諭す
物事の道理をよく言い聞かせてわからせる。

(11) 楽譜におんぷ音符を書く

(24) 旅館にとまる泊まる

(12) 峠とうげを越す
物事の絶頂の時が過ぎる。危ぶまれた時期を過ぎる。

(25) 拍車はくしゃをかける
その物事の進みを一気に早めること。

(13) ギザギザの刃は

(26) きのこがり狩りをする

中学校一年生の漢字プリント三十四 名前

【光村図書 国語1】 漢字3 漢字の成り立ち 続き〜五 / 漢字に親しもう6 六〜プリント三十五に続く

(1) 終止符しゅうしふを打つ
物事に決着をつける。おしまいにする。

(2) 手拍子てびょうしをうつ

(3) ホテルに宿泊しゅくはくする

(4) 実力が伯仲はくちゅうする

(5) 幾何学きかがく模様

(6) 野菜を収穫しゅうかくする

(7) 実家は商いあきないをしている

(8) 予定に支障きたすを来す

(9) かばんを提げさげるる

(10) 法廷ほうていで判決を聞く

(11) 古い貨幣かへい

(12) 大臣を更迭こうてつする

(13) 文化勲章くんしょうを授ける

(14) 虚偽きょぎの報告をする

(15) 琴線きんせんに触れる
深く感銘を受け、感動した様子を伝える言葉。

(16) 太鼓判たいこばんを押す
その人物や品物が確実によいものであると保証をする。

(17) 寸暇を惜しむすんかをおしむ
ほんの少しの暇も惜しんで何かをやること。

(18) 腰を据えるこしをすえる
ある場所や職場などにすっきり落ち着く。

(19) 額に汗するひたいにあせする
汗を流して一生懸命に働く。

(20) 二の足を踏むにのあしをふむ
思い切つて物事を進めることができないさま。

(21) 耳を澄ますみみをすます
聞こうとして注意を集中する。

(22) 更地さらちにする

(23) 琴ことを弾く

(24) 勝負に惜敗せきはいする

(25) 価格を据え置くすえおく

(26) 暑さで発汗はっかんする

中学校一年生の漢字プリント三十五 名前

【光村図書 国語1】漢字に親しもう6 続き／十／資料十一／十七

(1) 更衣室こういしつ で着替える

(14) 相撲すもう をとる

(2) 虚栄心きよえいしん のある人
みえを張りたがる心。

(15) 足袋たび を履く

(3) 書類を偽造ぎざう する

(16) 差し支えさしつかえ なく暮らす
物事を行うに当って不都合になる事柄。何らかの問題。

(4) 耳の鼓膜こまく

(17) 土産みやげ を買う

(5) 惜しいおしい 結果だった

(6) 首が据わるすわる

(7) 身分を偽るいつわる

(8) 虚々実々きよきよじつじつ

考え得る策略を全て使用し、手段を選ばずに戦うこと。

(9) 腹を据えるはらをすえる

覚悟を決める。または、我慢して堪える。

(10) 来たるきたる 八月十五日は終戦の日

(11) 風邪かぜ をひく

(12) 梅雨つゆ 入りする

(13) あかい 紅葉もみじ